

fall in 南人無

フォーリンナム

伝えれ！この想い

2021.
10.01
vol.

03



これが、私の恩返し
— 報恩講を支える人々 —

ご案内 イベント・講座のご案内

コラム 縁の中の力もち 長谷川誠さん(名古屋楽僧)



あなたに聴きたい 報せたい

広聴広報室

名古屋教区 教化委員会

これが、私の恩返し

— 報恩講を支える人々 —

今号は名古屋別院の見真会(下記参照)の特集です。

見真会のさまざまな支えがあって、別院の報恩講は毎年お勤めされています。今回は、花技奉仕講・心光会・丹羽郡十八日講の3団体にスポットをあてて紹介します。それぞれの活動から、報恩のおもいが伝わってきます。



御絵伝前に荘厳された仏華

花技奉仕講

報恩講をはじめ、お彼岸、お盆、年末年始の年6回、別院各所の花立をしています。現在も名古屋別院のお花の調達、花立をになっている花屋の花才は200年の歴史があり、報恩講の仏華は8人で花立をしています。親鸞聖人650回御遠忌法要時の写真で花才の活動が確認できるため、100年以上にわたり奉仕していることになります。先代から受け継がれてきた材料、技術を大切にし、毎回同じように立てるよう気を付けています。また材料には特注のものもあり、直接山から切り出すこともありますが、見えにくいところでは新しい技法を取り込む工夫も続けています。別院本堂に備える仏華は、一番高いもので3m50cmほどあり、御輿で担いで5人で運搬するほどの大きさですので、機会があれば目の前で大きさを実感してください。



講員で立てる仏華



講員で御華束作り

丹羽郡十八日講

別院報恩講・総永代経の御華束、年末の鏡餅の献納をしています。御華束とは、ご本尊を安置する内陣をおかざりするお供物の一つです。

名古屋別院の報恩講では高さ約90cm、中心径約50cmの須弥盛御華束を10基、杉盛御華束を4基献納しています。須弥盛御華束は、型崩れしないよう工夫された骨組みに、約600個のお餅が幾重にも組付けされており、まさにお餅の芸術品です。少し離れた位置から見てもその素晴らしい見栄えに圧倒されます。

また、地元の行事として、別院輪番が廻在(お経と法話)をしたり、新年の修正会・新年会、研修旅行と、日頃から仏法聴聞と相互の親睦を深める行事を大切にしています。



上/配膳の準備をする会員 下/配膳台に並べられた大根

心光会

お盆、お彼岸の参拝者接待、納骨法要の受付、報恩講でのお斎場の配膳、本山報恩講バス団参、『名古屋御坊』新聞発送、門徒声明等の活動をしています。

現在は約57人の会員があり、終戦後すぐ戦災からの別院復興の願いを使命とした真宗門徒の奉仕団からはじまりました。

報恩講では朝6時に来院し、参勤者の朝食準備から、お斎場配膳、准堂衆・楽僧接待等の奉仕活動をしています。毎年、「また報恩講で奉仕させてもらいたい」という各会員の阿弥陀様、親鸞聖人への感謝があるからこそ早朝からも活動でき、会員皆様の長年の温かい繋がり、御同朋御同行の交わりによって、今もお斎場が支えられています。

見真会とは？

名古屋別院を護持する10団体の総称です。地域別または目的別に「講」あるいは「会」という組織となり、さまざまな分野で名古屋別院の事業を支えていただいています。各団体で会員を募集中。

お問い合わせ先：名古屋別院 総務部(052-321-9201)



EVENT SCHEDULE

スケジュール

10月～12月

(2021年9月1日現在)

分類	事業名	概要	該当月			時間
			10月	11月	12月	
教化伝道	定例法話	毎月	5～28日開催		5～12日 13日は午前のみ	9:30～ 11:10～ 13:00～
	報恩講	年1回	—	—	13日 14日～18日	12:00～ 7:00～
	信道講座	年12回	10日	14日	5日	10:00～
	真宗門徒講座	年10回	1日	9日	—	14:00～
	別院半日奉仕研修	年5回	15・22・25日	—	—	10:00～
	ひとくちWeb法話	随時	—	—	—	随時
教化センター	聖典研修	年6回	—	2日	—	18:00～
	特別講座「真宗儀式の教相」	随時	—	—	1日	18:00～
社会事業	東別院こども報恩講	年1回	—	13日	—	未定
企画・広報	縁市一如さん	毎月	12日開催			—
	東別院暮らしの朝市	毎月	8・18・28日開催			10:00～
	初鐘 ※1月です	年1回	—	—	元日	0:00～
	修正会 ※1月です	年1回	—	—	元日 2～7日	6:00～ 7:30～
教区	解放運動推進要員研修	年5回	4日	19日	—	16:00～

お問い合わせ先（上記の色順で表記しています）

■ 名古屋別院教化伝道部	TEL: 052-331-9578
■ 名古屋教区教化センター	TEL: 052-323-3686
■ 名古屋別院社会事業部	TEL: 052-331-9576
■ 名古屋別院 (代表)	TEL: 052-321-9201
■ 名古屋教務所	TEL: 052-331-2468

※各種事業の日時・詳細は、東別院ホームページ(お東ネット)や『名古屋御坊』にて掲載いたしますので、ご参加の前にご確認ください。

東別院ホームページ
https://www.ohigashi.net/

お東ネット



INFORMATION

ご案内

教化センター特別講座「真宗儀式の教相」

開催日時：12月1日 18:00～ 開催場所：対面所

テーマを「得度式をめぐる」とし、寺院後継候補者の自覚がないままに我が子に得度式受式をさせることの問題や親の葛藤について、また法灯を伝承していくことの大切さについて竹橋太氏(儀式指導研究所 研究員)からお話をいただきます。

COLUMN コラム
vol.03なか
縁の中の力もち

報恩講では力強い^{しょうみょう}声明とともに、浄土を思わせる雅楽の音色が響きます。

その雅楽演奏の役割を担うのが「^{がくそう}楽僧」といわれる人たち。

今号では、楽僧の一人である長谷川誠さんにお話を伺いました。

一楽僧を志すことになったきっかけをお聞かせください。

長谷川:父が^{ひちりき}楽僧で^{りゅうてき}箏を吹いていたのですが、家で音を出されるとそれがうるさくてテレビの音が聞こえなくなるんです。だから子どもの頃から雅楽にいい印象はありませんでした。

一それは意外でした(笑)

長谷川:ずっと雅楽に対して関心が持てずにいたのですが、大学を卒業し、名古屋別院の職員となり、その研修中に初めて法要の中で奏でられる雅楽を聴く体験をし、「凄いなあ」と感動したんです。これまで家で何度も父の音を聴いてきたのですが、本堂の中で声明とともに奏でられる雅楽は聴いたことがありませんでした。同時に儀式や雅楽に真摯に向き合う先輩方の姿を見て、自分の中に雅楽をやりたいという思いが芽生えたんです。

一長谷川さんが演奏をする時に特に大切にしていることは何でしょうか？

長谷川:自分の演奏を「聴かせてやろう」という気持ちを持たないことです。私は^{りゅうてき}龍笛を吹くのですが、雅楽は^{しやう}笙や^{しやう}箏、太鼓など様々な楽器の音が重なって奏でられます。そこで自分だけが前に出ようとすれば音はまとまらなくなります。それぞれの役割を大切に、「皆でひとつの音楽を奏でる」ことを特に大切にしています。

一「それぞれの役割を大切にすること」は雅楽に留まらず、日頃の生活の中でも大切なことですね。

長谷川:雅楽の演奏では楽器同士が半音ずれたまま演奏するところがあります。私の師もそれが雅楽の特徴だと言っていました。必ずしもぴったりと音を合わせるのではなく、ずれた音を大切にしていくところもあるのです。親鸞聖人のお詠みになったご和讃の中に、「^{きやうしやう}宮商和^わ自然^{じねん}なり」というお言葉があります。「宮」と「商」というのはどちらも雅楽の音階なのですが、この二



つは不協和音なんです。合わない音、ぶつかり合う音なのですが、それが重なることで「浄土の音楽」が奏でられています。「合わない」ということも大切にしていくところが雅楽の面白さだと思います。

一コラムを読んでくださっている方々、また雅楽に関心のある次世代の方々に伝えたいことはありますか？

長谷川:ただ演奏するだけではなく、法要を雅楽で荘厳する者としての責任と誇りを持って楽僧は稽古に励んでいます。報恩講にお参りに来られる方々にその思いが伝わるように私自身も演奏をしたいと思っています。また、先輩方が築いてこられた歴史を次の世代に繋いでいくことも今の大きな課題です。少しでも雅楽に興味のある方は声をかけていただけたら嬉しいです。

一ありがとうございました。

プロフィール
profileは せ が わ ま こ と
長谷川 誠

上宮寺 (第30組・名古屋市中昭和区) 住職。
名古屋楽僧(持管:龍笛)
中部日本雅楽連盟理事



編集後記

コロナの影響により昨年の別院報恩講は見真会の活動も制限されて勤務されました。今まで支え続けてくださった活動や思いが分断されることで、改めてその活動に頭が下がりました。今年の報恩講では特集ページに記されたお荘厳やお接待やお祈、多くの方々の支えに心を寄せて、私はどのように恩に報いていくのか確かめたいと思います。(S)

発行日：2021年10月1日
発行人：小林 斉（真宗大谷派 名古屋教区 教化委員長）
発行所：真宗大谷派 名古屋教区 教化委員会 広聴広報室
所在地：〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋二丁目8-55
TEL：052-331-2468 FAX：052-321-5845
MAIL：nagoya@higashihonganj.or.jp
広報誌デザイン：株式会社レンズアソシエイツ
表紙/特集デザイン：カザミドリデザイン

皆様のご意見をお聞かせください
https://forms.gle/81jNZe4JwMJyMCA



千鶴ちゃんとアヤちゃん

INSTRUCTIONS

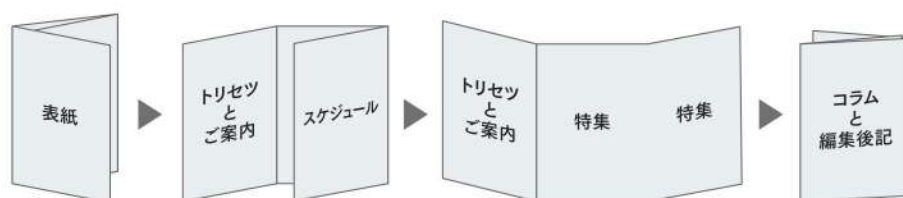
あなたに き 聴きたい しら 報せたい



トリセツ 本誌の取り扱い説明

- 1 本誌では、別院境内で開催される各種事業(公開講座・研修等)を掲載しております。将来的に、別院境内のみならず尾張地域の事業の掲載も目指します。
- 2 毎号特集では、テーマを決めてより深く様々な事業について紹介いたします(下図参照)。
- 3 表紙裏ページにトリセツと特集以外のイベント・講座を掲載いたします。
- 4 スケジュールページには、開催が予定されている主な教化事業を掲載いたします。講座・行事の開催日時はこのページでご確認ください。
- 5 表紙裏にはコラムと編集後記を掲載いたします。
- 6 是非持ち歩いていただいて、別院にお参りください!

✕ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、各種事業が中止あるいは延期となる可能性があります。日時・詳細は『名古屋御坊』、最新情報は東別院ホームページ(お東ネット)にて掲載いたしますので、ご参加の前にご確認ください。



INFORMATION

ご案内

報恩講

開催場所：本堂

報恩講は真宗門徒にとって一年の中でもっとも大切なお仏事です。名古屋別院では、12月13日から12月18日まで法要が勤まり、親鸞聖人のご生涯を著した『御伝紗』の拝読やリレー法話等も開催されます。※詳細は別院から発刊される案内冊子やHPでご確認ください。

東別院こども報恩講

開催場所：本堂・境内

今年度は11月13日(土)に開催されます。親鸞聖人のご命日をご縁に勤められる報恩講に、子どもたちとともに参拝します。お勤めの他、お楽しみが盛りだくさんです。

しゅしょうを 修正会

開催場所：本堂

1月1日から7日まで修正会が勤まります。一年の初めに莊厳を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむお仏事です。元日午前5時30分に献盃式を行い、続いて6時より修正会が勤まります。

※2日からは午前7時30分より勤まります。

はつがね 初鐘

開催場所：鐘楼堂

境内西側の鐘楼にて名古屋市指定文化財の鐘を撞いていただけます。元日午前0時~1時30分(予定)です。ご家族・グループでお越しください。